

■ 4期生いよいよ卒業へ

5/18-19、第4期第17回授業を開催しました。1日目は、卒業した3期生から再生可能エネルギー事業に携わる3名が、講師として事例報告をおこないました。2日目の事業計画相談会では、おひさま進歩エネルギー社員がアドバイザーとなって、次回6月の最終授業に向けて相談会を開催。受講生同士でも活発な意見交換がおこなわれ、事業計画の構想がさらに深まる時間となりました。

6月の最終授業では、事業計画発表と卒業式がおこなわれ、4期生は卒業となります。

■ 5/20、第5期生募集スタート

飯田自然エネルギー大学は10月から、第5期を開校します。5/20から、5期生の募集を開始しました。1年間(全10回)のカリキュラムで、住民や地域事業者が主体になる再エネ事業、新電力など地域のエネルギーマネジメントを担う人材を育成します。授業は、再エネ研究者や事業者を迎えた講義、エネルギー事業計画づくりの演習等で構成。卒業時、個人またはグループで事業計画を仕上げます。受講は、対面・オンラインを組み合わせで開催します。

定員20人、受講料10万円(10回分)。長野県飯田市・下伊那郡在住者は、受講料補助制度あり。学生の方は修了後、奨学金が支給されます。参加希望の方は、応募書類(応募用紙、小論文2点)をメール提出してください。

締切は、8/16(金)必着。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

また地域エネルギー事業に関心のある方へも、ぜひご紹介ください。



第5期募集案内



おひさまスタッフ紹介

2024年春、新たに2人の社員が加わりました。五十嵐千紗は昨年、大学在学中におひさま進歩エネルギーでインターン研修



新たに加わった遠藤、五十嵐(右)

を経験。自治体の計画策定コンサル、電源開発を担当します。遠藤紗綾香は昨年、約10年ぶりに故郷飯田へUターン。経理を担当します。

新メンバーが加わり、おひさま進歩エネルギーは現在、社員14人(男性5人、女性9人)が働いています。業務も電源開発や発電施設の保守管理、自治体の計画策定コンサルティング、環境学習、システム管理、経理など多岐にわたります。

創業20周年を迎える今年、自社管理する太陽光発電所は合計403カ所、設備容量11,001kWまで拡大しました。頼もしい新メンバーと一緒に、力を合わせて事業を進めていきます。

おひさまエッセイ

おひさま進歩エネルギーは今年で創業20周年を迎えます。NPOから始まったこの小さな会社が、これほど長い期間にわたり仕事を続けて来られたのは、お客様やおひさまファンド出資者の皆さまをはじめ、関係するすべての方のご理解とご助力があったからと深く感謝しております。

当社は地域に根差して自然エネルギーの普及を進めることを目標として、太陽光発電を中心に事業を進めてきました。近年は小水力発電にも挑戦したり、自治体の脱炭素計画づくりのお手伝いなどもやらせていただくなど、事業の幅を広げて参りました。また、作った電気を皆さんに使っていただくため飯田まちづくり電力という新電力を立ち上げたり、飯田自然エネルギー大学で地域の再エネプレイヤーを育てる事業もおこなっております。その一つひとつが大きな挑戦ですが、すべての局面で支えてくださる人に恵まれ、事業を続けていくことができました。

気候変動の深刻さは増し続けていますし、ウクライナやパレスチナの悲惨な戦争の影響で私たちの暮らしも原油価格に翻弄されるなど、世界が繋がっていることを感じます。自然エネルギーの普及が進むことで、暮らしが原油に振り回されることも無くなり、資源を巡る争いも無く、後世に良い環境を残せる、そうした世の中になることを願ってやみません。

微力ではありますが、理想を持ちつつ、地域に根差したエネルギー会社としてこれからも一歩いっば進んで参りたいと思います。引き続いてのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おひさま進歩エネルギー(株)取締役 海部岳裕



おひさま進歩エネルギー株式会社

〒395-0802 長野県飯田市鼎下茶屋2242-2(飯田商工会議所鼎支所1階)
TEL 0265-56-3711、FAX 0265-56-3712
メール info@ohisama-energy.co.jp HP http://ohisama-energy.co.jp/



長野県SDGs推進企業

おひさま通信

Vol.32 2024年6月発行

おひさま通信は、おひさま進歩エネルギー及びグループ会社の活動をご紹介する冊子です。

高森町で町民体育館へパネル設置、飯田まちづくり電力と協定締結

環境省「重点対策加速化事業」に採択された高森町で、町民体育館への太陽光パネル設置と、電気自動車(EV)用の急速充電器の設置が完了しました。3月、壬生照玄町長をはじめ議会関係者が出席して「運用開始式」が行われました。

今回のパネル設置事業は、町民体育館に屋根貸し事業(オンサイトPPA)でパネル設置して、体育館を含む公共施設一帯で使用する電力の一部をまかないます。設置したパネルは60.5kW(出力39.8kW)。体育館は災害時の避難所に指定されていて、非常用コンセント、発電量の表示モニターも設置しました。

公民館前には一般向けEV充電ステーションが新設されて、体育館のパネルで発電した電気が使われます。

また、おひさま進歩エネルギーの関連会社・飯田まちづくり電力(原勉代表取締役)は5月、高森町と新たに「再エネの地産地消に向けた協定」を締結しました。高森町ゼロカーボン推進補助金の交付を受けて設置された太陽光発電から、電気(余剰分)を飯田まちづくり電力が買い取って、町内のサッカー場等の公共施設に供給します。

サッカー場とクラブハウスは、太陽光発電と蓄電池を設置予定で、夜間照明などに活用。不足分の電気は、町内で発電する太陽光発電の電気やCO2フリー電気を使用する計画です。今後は、小中学校への電力供給も検討していくということです。

高森町は2021年、おひさま進歩エネルギーがコンサルティングして「2050年カーボンニュートラルアクションプラン」を定めて、脱炭素化に取り組んでいます。公共施設では太陽光パネルや蓄電池の設置検討、町内の河川では小水力発電の可能性調査などが行われています。また小学校では、地球温暖化について学ぶ環境学習も始まっています。

このような着実な取り組みを通じて、地域の脱炭素化と、エネルギー自立が両輪となって進んでいきます。



野底川小水力発電所の発電実績・見学受入れ

昨年9月に運転開始した飯田市上郷の野底川小水力発電所は、2023年度の発電実績がまとまりました。年間発電量は761,400kWhで、想定した発電量シミュレーション値と比較すると80.5%でした。

想定を下回った原因は、12月に部品の初期不良が見つかり、交換対応のため運転を停止したこと、2月に機器調整のため運転時間を抑制したためです。その後は、おおむね順調に発電しています。7か月分のCO2削減量は329.7t-CO2でした。

野底川小水力発電所は、上郷地域まちづくり委員会との共同事業で、売電収益の一部を地域貢献寄附金として寄付します。2023年度は24万円を寄付することができました。

また、発電所の見学依頼が多く寄せられています。3月までに合計22件、372人が見学に訪れました。見学者は地域住民をはじめ、小水力事業を目指す方、再エネを研究する大学生、弁護士会、議会関係者等が含まれます。今後もゴミの除去や機器調整など、安定運用のノウハウを蓄積していきます。

■ 2023年度の発電実績

項目	数値	備考
年間発電量	761,400kWh	シミュレーション値比80.5%
CO2削減量	329.7t-CO2	中部電力ミライズ(株)基礎排出係数で算出



高森町民体育館に設置したパネル



飯田まちづくり電力(株)と協定を締結



大学生の発電所見学の様子

祝

20

2004年 → 2024年

「おひさま進歩エネルギー20周年プロジェクト」が始動

おひさま進歩エネルギーは2024年12月、創業20周年を迎えます。社内実行委員会を立ち上げて、20周年プロジェクトが始動しました。

まず社員全員で、20周年事業の目的や事業案を出し合うことからスタート。目的として多く挙がったキーワードは、「感謝」「未来」「ふり返し」「PR」でした。これまで支えてくださった地域の皆さん、出資者や取引先、再エネ関係者など、多くの方々へ感謝を伝えたいという想いは社員共通でした。そして、20年の軌跡を整理・記録して、未来を見据えて会社のビジョンや戦略を再構築する、大きな方向が決まりました。

4月には、キックオフイベントとして社内研修を実施しました。Katmanこと難波克己先生（Adventure Design代表）を講師に迎え、体を使ったアクティビティやランチづくりを通じて、社員同士の交流を深めながら、20年を振り返る機会となりました。

6月からは、これまでの歩みを学ぶ社内勉強会もスタート。社員全員で過去の事業展開を振り返り、関係者へインタビューしながら、新しいビジョンづくりの発想の種を育てていきます。

そして2024年12月、20周年記念事業を開催します。講演会やパネルディスカッションを通じて、市民地域共同発電所の20年を振り返り、地域エネルギー事業の未来を考える内容となります。イベントは、気候ネットワーク（京都市）の地域エネルギー事業の中間支援組織を考えるフォーラムと併催予定です。詳細が決まったら、ホームページ等で告知していきます。どうぞ楽しみに。

■20周年事業「地域エネルギー事業の課題と可能性」（仮）

開催日：2024年12月5日（木）

会 場：飯田市民館（JR飯田駅前 丘の上結いスクエア内）

内 容：講演会及びパネルディスカッション
（メイン講師 諸富徹教授／京都大学大学院経済学研究科）

定員120人、参加無料

共 催：特定非営利活動法人気候ネットワーク、飯田まちづくり電力（株）

予告



社内研修会のアクティビティ



会社の歩みを学ぶ勉強会

自治体の地球温暖化防止実行計画策定の支援事業

2023年度、長野県内の4町村で2050年カーボンニュートラルに向けた自治体の計画づくりを支援するコンサルティング事業に取り組みました。

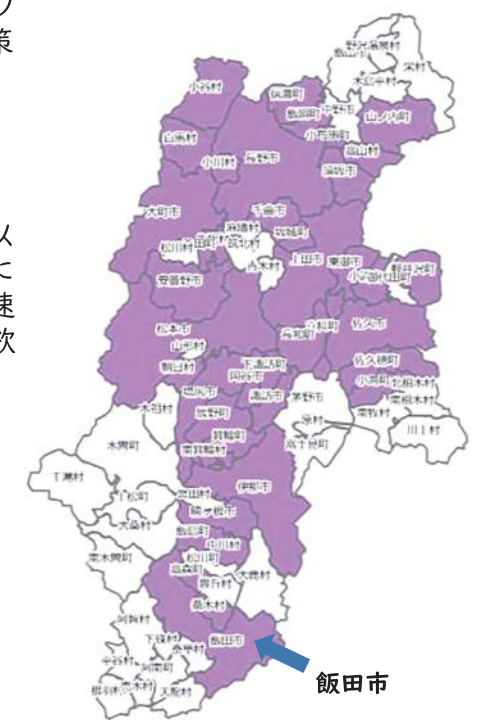
2024年度はすでに4町村で重点対策加速化交付金申請支援事業やロードマップ策定支援事業が決定。このほか、自治体で実施予定の地球温暖化防止実行計画策定のプロポーザル（企画提案）へ参加します。

おひさま進歩エネルギーは2016年度から、地球温暖化防止実行計画の策定支援事業を始めて、これまで県内8町村を支援してきました。

2020年に「2050年カーボンニュートラル実現」という国の目標が示されて以降、地方自治体の地球温暖化防止実行計画の策定・実行が強く求められるようになりました。環境省「脱炭素先行地域」に採択された飯田市、同「重点対策加速化事業」に採択された高森町など、脱炭素化と地域の課題解決を並走させる意欲的な自治体も現れました。

右の地図は、国の目標を受けて「二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」を表明した県内自治体を示しています。77自治体中、41（表明率53.2%）で、飯田市周辺でも未表明の自治体が複数あります。宣言表明や、地球温暖化防止実行計画策定が、国の補助事業申請の要件となるケースも増えました。地域エネルギー会社として、これからも自治体支援を続けていきます。

2023年度受託実績
長野県喬木村：地球温暖化防止実行計画策定業務（区域施策編）
長野県飯島町：地球温暖化防止実行計画策定業務（区域施策編）
長野県中川村：地球温暖化防止実行計画策定業務（区域施策編）
長野県高森町：地球温暖化防止実行計画改定業務（事務事業編）



県内の2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明状況（環境省サイトより。策定済み自治体は紫色表示）

■ お ひ さ ま 進 歩 N E W S

野立て太陽光発電所の草刈り作業

おひさま発電所のうち、地権者から依頼を受けて遊休地などに設置した野立て発電所では毎年数回、草刈りを実施します。5月中旬、飯田市内の発電所2カ所で、今年1回目の草刈りを社員参加で行いました。今年は気候が暖かく、例年より早いスピードで草が伸びています。

長野県大町市など、遠方に設置した野立て発電所は、地元業者へ草刈りを委託しています。雑草が発電を妨げたり、近隣の迷惑にならないよう丁寧に管理していきます。



飯田山本おひさま発電所の草刈り作業

太陽光発電所の自家消費

下記のグラフは、弊社が事業所に設置した太陽光発電設備の発電と自家消費の様子を示しています。事業所の電力消費量の合計を赤線、そのうち太陽光で発電した電力の消費量を青線で示しています。

縦軸が電力消費量、横軸は1日の時間です。事業所の電力消費量の増減に合わせて、太陽光の発電量を増減させ、発電量が電力消費量を超えないように調整しながら発電しています。

特に12:00～15:00の2つのグラフを見ると波形が一致していて、発電の調整が順調に行われていることがわかります。この太陽光の発電システムは、送電会社の規約に基づき、発電量が電力使用量を超えると、系統（送配電網）へ流れないように、強制停止する仕組みになっています。パワーコンディショナが完全に停止すると5分以上発電が中断してしまうため、自家消費量に合わせて瞬時に出力を変動させて調整しています。

最近はFIT売電価格の低下に伴い、パネルで発電した電力を売電せず自家消費したいというご要望が増えています。パネル設置するお客様のニーズに合わせて、さまざまな機能や利用方法を提案していきます。



さんぽちゃん 環境学習とイベントで大活躍

2020年以降、コロナ禍のため保育園での環境学習「さんぽちゃんパネルシアター」を休止していましたが、2023年度は約4年ぶりにパネルシアターが復活、2保育園を訪問しました。

1月、飯田市の上郷なかよし保育園で、年長クラスを対象としたパネルシアターをおこないました。「おひさまパワーとさんぽちゃん〜でんきのじょうずな使いかた〜」をテーマに、無駄のない電気の使い方、電気と地球温暖化の関係について会社のマスコットキャラクター、さんぽちゃんと一緒に考えました。

また3月、飯田市の鼎あかり保育園で未満～年長クラスの皆さん180名を対象にパネルシアターをおこないました。お話の後半では、ステージから本物のさんぽちゃんが登場！電気を大切に使うための、さんぽちゃんとのお約束と一緒に読み上げました。

4月、飯田市内りんご並木で開催されたゆるキャライベント「ぽおの日曜日」に参加しました。この日は20周年PRのため「20」と書かれたフェルトの王冠をかぶって登場。来場者と記念撮影したり、さんぽちゃんシールを配布したり。20年間支えて頂いた地域の皆さんへ、感謝を伝えることができました。



上郷なかよし保育園パネルシアター（1月）



鼎あかり保育園パネルシアター（3月）



りんご並木イベントに参加（4月）